

平成 22 年 6 月吉日

各 位

国立大学法人岩手大学
地域連携推進センター長 鈴木 幸一

齋藤徳美先生による「岩手大学地域連携セミナー」開催の御案内

謹啓 初夏の候ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は本学の地域連携の推進に対しまして格別の御支援・御協力を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

本学は、平成 16 年の国立大学法人化に当たって「岩手の“大地”と“ひと”と共に」をキャッチフレーズとして掲げ、教育・研究・地域貢献に取り組んで参りました。昨年度は平成 16 年度からスタートした第 1 期中期目標・中期計画が終了し、文部科学省等から一定の評価をいただいたところであります。

大学の中にあつて地域との窓口として地域貢献の一翼を担う当センターといたしましても、地域の皆様に支えられながら、大学の評価にも貢献してきたと自負しているところであり、最近では、大学が掲げる地域貢献という言葉よりも、産学官連携や地域連携といった言葉がすっかり馴染んできたように感じております。

しかしながら、産学官連携や地域連携といった言葉や取組には、イノベーション創出のキーワードや原動力として地域の期待が大きくなってきておりますが、ややもすると言葉のみが一人歩きし、思いが共有できていないきらいがあります。

そこで、当センターでは、本年 6 月 4 日をもって本学を退官された齋藤徳美先生を講師としてお招きし、「岩手の地域連携を考える」セミナーを次のとおり開催することといたしました。

齋藤先生は、INS の初代運営委員長、岩手大学学長特別補佐、理事・副学長として長年にわたって岩手の産学官連携・地域連携に尽力されてきました。先生の地域に対する思いから発している地域連携活動は、岩手山噴火危機に対する活動、21 世紀最初の岩手県の総合計画である「岩手県総合計画～みんなで創る「夢県土いわて」～」の起草委員長としての活動、産学官の組織のネットワークである「いわて未来づくり機構」創設に向けた活動など、枚挙にいとまがありません。

齋藤先生自らの言葉でこれまでの産学官連携・地域連携を振り返っていただくと

ともに、後に続く私ども関係者に対して今後の産学官連携、地域連携のあり方等についてのお言葉をいただきたいと考えております。

時節柄御多用とは存じますが、本セミナーに御出席いただき、今後の地域連携について共に考えていただければ幸甚に存じます。

なお、セミナー終了後、同会場において齋藤先生を囲む会を開催いたしますので、引き続き御出席いただきますよう御案内申し上げます。 謹白

- 1 日時 平成22年7月12日(月) 16時～19時
- 2 会場 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング4階
メトロポリタンホール
- 3 主催 岩手大学地域連携推進センター
- 4 プログラム
 - (1) 第1部 16:00～17:10
講演 「岩手の地域連携を考える」
講師 齋藤 徳美 先生
休憩 (17:10～17:30)
 - (2) 第2部 17:30～19:00
齋藤徳美先生を囲む会
- 5 参加費 6千円(第1部のみ御出席の場合には無料となります)
- 6 申し込み 平成22年6月30日までに別紙申込書によりFAX等でお申し込み願います。
- 6 問合せ先 岩手大学地域連携推進センター(小野寺、小川、今井、早川)
電話: 019-621-6492
E-mail: ccrd-ad@iwate-u.ac.jp さい

齋藤徳美先生による「岩手大学地域連携セミナー」参加申込書

岩手大学地域連携推進センター 宛て

(F A X : 019-621-6892)

所 属 : _____

職・氏名 : _____

電話番号 : _____

参加者及び参加内容

所属	職	氏名	第1部	第2部

備考：出欠につきましては、○ or × を記入願います。

第2部の参加費は6千円となります。当日、会場受付で承ります。